

中部支部第 13 期・第 3 回溶射技術研究会  
「微粒子ピーニングを用いた表面被膜処理技術の最新動向」  
の開催のご案内

拝啓

初冬の候、皆様元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。平素は当研究会に対しまして、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、中部支部第 13 期・第 3 回溶射技術研究会「微粒子ピーニングを用いた表面被膜処理技術の最新動向」を開催します。今回は、株式会社中部支部において溶射技術に関する講演を中心に下記のように企画致しました。お忙しい所とは存じますが、是非ご出席下さいます様よろしくお願い申し上げます。

つきましては、恐れ入りますが下記様式にて、研究会へのご出欠を e-mail または FAX にて 1 月 8 日までに南部幹事あてにご連絡をお願いします。

敬具

—記—

1. 日 時：平成 28 年 1 月 15 日（金） 14：00～16：30

2. 場 所：名城大学 名駅サテライトキャンパスMSAT 多目的室  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-26-8 KDX 名古屋駅前ビル 13 階  
（最寄り駅：名古屋駅）

3. プログラム

14：00～14：05 開会挨拶 支部長 豊橋技術科学大学 安井利明 准教授

【講演】

14：05～14：55

「微粒子ピーニングを利用したチタン系材料表面におけるハイドロキシアパタイト層の創製」

概要

ハイドロキシアパタイト（以下、HAp）微粒子を用いたピーニングにより、工業用純チタンおよびチタン合金の表面にHAp層を創製させた。また、疲労特性に及ぼすHAp微粒子ピーニングの影響について検討を加えた。

神戸大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 菊池将一 助教

14：55～15：05 休憩

15：05～16：05

「微粒子ピーニングを用いた付加加工的表面改質とその応用」

概要

微粒子ピーニングでは、従来から知られた強度向上の作用に加え、投射した粒子成分を残存（移着）させることにより付加加工的メカニズムに基づく改質効果を得ることができる。この現象を顕在化させるための種々の工夫や、期待される応用事例について紹介する。

東京都市大学 工学部 機械工学科 亀山雄高 准教授

16：05～16:10 閉会挨拶 支部長 豊橋技術科学大学 安井利明 准教授

17：00～ 懇親会（名古屋駅周辺で3,000～5,000円／名を予定しています）

#### 4. 研究会参加費

中部支部の溶射技術研究会会員の企業の方、および大学・公的研究機関の方は無料です。溶射技術研究会会員以外の企業の方には、参加費として3,000円/企業を徴収させていただきます。なお、学会会員以外の方の参加も歓迎します。資料は参加者に無料で配布いたしますが、1機関から参加人数が多い場合は配布数を調整させていただくことがあります。

以上

#### 会場へのアクセス方法



<http://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/msat.html>

下記を出欠の回答にお使い下さい。

1月8日までにお知らせ下さい。

中部支部第13期・第3回 溶射技術研究会の出欠

南部幹事（鈴鹿工業高等専門学校）宛に回答してください。

e-mail : knambu@mech.suzuka-ct.ac.jp FAX : 059-368-1770

研究会に 出席する 欠席する (不要な方を消して下さい。)

出席の場合の参加人数 :  名

出席者氏名記入欄

1		11	
2		12	
3		13	
4		14	
5		15	
6		16	
7		17	
8		18	
9		19	
10		20	

所属機関名 :

代表委員名 :